



佐工だより

佐賀県立佐賀工業高等学校 総務部発行 第358号 (2022年6月)



高校総体が目前に迫ってきましたが、準備は調っていますか。また、高校生ものづくりコンテスト佐賀大会、高校生溶接技術競技大会と大きな大会が目白押しです。3年生にとっては集大成となる大舞台。悔いの残らぬよう、日頃の練習の成果を十分発揮してください。

新入生オリエンテーション(1年)

新1年生は、4月12日、13日の2日間にわたって校内オリエンテーション、19日に井原山登山というスケジュールで新入生オリエンテーションを終えました。学年主任の田中健一先生より研修の総括をご寄稿いただきました。

1年生登山研修を終えて 1年学年主任 田中 健一

校内での研修期間を終え、最後の研修として4月19日(火)に北山にある井原山への登山を行った。天候にも恵まれ、体調不良や怪我等により登れない生徒もいたが221名の生徒が登山に臨んだ。北山東部小学校から歩き始め山頂まで6kmの道のりであった。道中に弱音を吐く生徒も多数いたが、山頂まで2時間程度で登頂する事ができた。山頂には先客がおられ、その中に幼稚園児が20名ほど遠足で登頂しているのを見て、「死にそう」と言って登頂して来た生徒達は「えっ」「マジか」と漏らしていた。山頂からの景色はすばらしく福岡タワーや志賀島まで見る事が出来た。山頂で食事を済ませ、帰りは1時間半程度で下山して来る事が出来た。大きな怪我や負傷者も無く無事に帰路に着く事ができた。



今回の研修を通して、少しはクラスメイトと打ち解ける事ができたのではないかと思います。

今年度の1年生の学年目標を佐工プランに合わせて、「いどむ」何事にもチャレンジしよう!としているが、自己目標を持って学校生活を送って貰いたいと思う。3年次の進路決定に繋がるように1年次から努力し、自分の進路実現を果たして欲しいと思う。最後に入学して来たすべての生徒が進路決定し、全員卒業してくれる事を願っている。

卒業生と語る会(建築科3年)

ゴールデンウィークの谷間の日となる5月2日(月)は建築科で卒業生と語る会が行われ、卒業して3年目の先輩方が18名、県内だけでなく東京からも参加してくださいました。普段出勤する服装で来校した先輩方は、生徒諸君から見ると随分と大人に見えたのではないのでしょうか。2年働いての思い、苦勞、楽しみなどをお尋ね



しました。「仕事は自発的に報告や相談をしないと、誰も心配してくれませんが、遅くなるとますます言いにくくなります。一人前になるにはまだまだかかります。(末竹美鈴さん・県内)」、「船を作っています。お客さんは外国人で、言葉は通じないですけど、喜んでくれているのがわかって嬉しいです。3年生の時に自分も先輩の話を聞きましたが、そのときは話を聞いても仕事がどんなものかわかりませんでした。ちゃんと伝わったかな・・・(小原実花さん・長崎)」、「仕事はとても充実しています。人間関係もいいです。仕事量が多いのが大変ですが、責任を感じてやっています。休日も雨が降っていたら、現場はどうなっているかなとか考えます。(黒田昇民さん・県内)」、「いろんなお客さん、作業員と接するのですが、個性的な人が多いので何か頼むときも言葉遣いに気をつけています。時には機嫌を取りながら頼むということもします。車を買いました。日帰りでドライブを楽しんでいます。(栗山俊希さん・千葉)」、「コロナで材料の搬入が遅れる連絡が急にきて、大変なことがあります。作業内容を変えるなどして対処します。(成富星太さん・福岡)」、「一人暮らしすることで自立できました。覚えることがたくさんあって大変です。知っている人もいないので寂しいときもありますが、いろいろ学べます。(溝口唯さん・鳥取)」、「朝は早いし、帰りは遅いです。睡眠時間4時間ですが楽しいです。公共施設を作っていますが、大きな建物で地図に残ると思うとやり甲斐を感じます。(笠井瑞希さん・県内)」

3年生諸君にも感想を聞きました。「いろんな会社の人に来ていたので、選ぶ範囲が増えたと思います」、「同じ職種でも会社によって違うんだということが分かりました」、「1人で任された仕事をちゃんとやっていてすごいなと思いました。自分たちの為になることをたくさん教えてもらいました」。

当初3月に計画されていたこの会。少し遅れての開催となりましたが、3年生諸君の就職活動に間に合う時期に先輩方の生の声を聞く貴重な機会でした。皆さんの選択の助けとなることでしょう。

生徒総会 IN MAKE COMPASSION～思いやりをもって～

4月25日(火)、リモートにて生徒総会が開催されました。開始前には各教室の音声確認に少々時間が取られましたが、生徒会役員諸君の周到な準備により全体として会は大変スムーズに進行しました。会の最初には副会長の森亮太さん(電気科3年)が「自分のこととしてしっかり聞いてください。よりよい学校を作っていきましょう。」と挨拶しました。そして特別教室3に設けられたリモート総会発信会場の議長席から合田次頼さん(情報システム科3年)が議事を進行しました。昨年度の活動・会計報告に続き、今年度の活動計画・会計予算が発表され、これらの案は無事賛成多数で承認されました。



注目の質疑応答では、校内でのスマートフォンの使用についての要望に対して、生徒会長の岡凜太郎さんが次のように回答しました。「生徒指導部に相談に行ったところ、授業中のスマホ使用で月に10人も預かり指導される生徒が出ていることがわかりました。まずは授業中の使用を止め、指導をゼロにする。これを達成できたら次の段階の交渉ができます。皆さん、協力してください。」ほかにも校内Wifi環境について、冷水機・女子更衣室を増やしてほしいなどの要望について、役員諸君が各部署に問い合わせた内容を報告しました。

今年の重点目標は①思いやりを持てる学校づくり、②4S運動です。①は相手の気持ちを考えて行動し、いじめゼロを目指します。②は「整理・整頓・清掃・清潔」に取り組みます。事前に行った、学校生活の満足度、日常のコミュニケーション、授業環境、目標についての意識調査の結果も公表されました。大多数は問題なく学校生活をおくっていることがわかる結果でしたが、「困っていたら火曜日に生徒会室へ！」と、岡会長は少ない数字を軽視



しない頼もしい会長ぶりを示しました。しかし、生徒会諸君の奮闘だけではよりよい学校にはなりません。生徒諸君一人一人の行動が大切です。みなさんの行動で、ぜひ要望を実現して見せてください。

スクールカウンセラーは今年度も青山先生です

皆さんは悩みがあるときには誰に相談しますか？カウンセラーの先生は、友達とも親や先生とも違った相談相手です。今年で本校勤務4年目を迎えられる青山先生（公認心理師・臨床心理士）をご紹介します。新年度に当たり、皆さんに向けてのメッセージをいただき、また質問にも答えていただきました。



佐賀工業高校の皆さん、こんにちは。スクールカウンセラーの青山のぞみです。私は佐賀市内の小学校、中学校、高校のスクールカウンセラーや病院でのカウンセラーをしています。佐賀工業高校を担当させてもらうようになって、今年度で4年目となりました。

高校3年間を通して、皆さんの心と体は大人になるために大きく成長します。体が成長するときに成長痛があるように、心も成長するときに痛みを伴うことがあります。いろいろ考えすぎたり、迷ったり、悩んだり、不安になったり、苦しくなったり…、それは心が成長している証拠ともいえるかもしれません。そのよ

うな状態になった時は、一人で抱え込むのではなく、誰でもいいので相談してほしいと思います。それが、心が成長する時の助けとなりますよ。そして相談できる一人として、私のことも覚えていてもらえたら嬉しいです。気軽に利用して下さいね！

質問①コロナ禍に加えて第3次世界大戦が起こるかもしれないなど、先の見えない状況で不安な生徒もいることと思います。先生はどのような心構えで過ごしておいでですか。

私はテレビやネットニュースで、悪い情報にばかり目を向けすぎないように、情報から距離を取る時間を作るように心がけています。そしていつもの生活習慣（ちゃんと食べて、ちゃんと寝る！）やペースを保ち、自分がほっとする時間を持つようにしています。自分が自分らしく過



せる時間を確保しながら生活するようにしています。

質問②今までにない事態、例えば物不足や戦争が実際に起こったとき、どんな力が必要だと思われますか。または、どうしたら希望を持てるでしょうか。

自分が大切にしたいもの（こと）、ゆずれないもの（こと）は何か、しっかりと見極めてほしいなと思います。思い通りにならないこともたくさんあるかもしれませんが、こんなはずではなかった、と思うこともあるかもしれません。そんな時だからこそ、自分にとって大切なものを守ることができるように、自分ができる範囲で構いませんので行動するよう努力して下さい。それが自分のことを大切にすることにつながります。

そして、自分が大切にしたいものやゆずれないものがあるように、自分以外の人にもそれぞれ大切にしたいものやゆずれないものがあります。是非、自分以外の人のも大切にしたいものも、尊重してあげることができる人になってほしいと思います。自分のことを大切にすることができて、そして周囲の人のことも尊重して生活できることができたなら、心の平和にも、世界の平和にもつながっていくのではないかと思います。

質問③不安な社会状況の中で成長する若者に何かアドバイスをお願いします。

いろいろなことを「諦める」のではなく、多くのことに「挑戦」してほしいと思います。高校3年間という貴重な日々を皆さんらしく過ごすことができるよう、やりたいことがあればどんどん挑戦して下さい。心から応援しています！



開校記念講演会 酒見紀代子氏



5月14日の開校記念日に先立つ5月10日、1964年(昭和39年)に本校電気科を卒業なさった酒見紀代子氏をお招きして開校記念講演会が開かれました。ご自身の高校進学の際、当時の学校生活、社会人生活、そして現在会長を務めていらっしゃる佐賀県人権擁護委員連合会で取り組まれている人権問題についてお話いただきました。中学校の担任の先生の「パイオニア精神で工業に行ってみないか」との言葉を受けて、ほとんど男子校であった佐賀工業高校への進学を決意なさるとは、並大抵のことではありません。戦後、日本でまずすべきことは食べ物探し。戦後20年にならない高校時代は、作るものすべてが必要とされる時代だったとのことでした。「戦争からは何も生まれない。勝っても負けても何も得るものはない」との言葉に深くうなずかされました。また、「工業で学んで本当によかった」とおっしゃっていましたが、ここで一生懸命学ぶことが先輩のような充実した人生につながっています。いきなり大先輩のような未来は想像できませんが、日々、それぞれの近い未来の目標に向かって努力を重ねましょう。

表彰

M: 機械科 K: 機械システム科 E: 電気科 C: 電子科 I: 情報システム科 A: 建築科

◆第46回 佐賀県空手道選手権大会
少年男子形個人戦 準優勝 横田 怜大 (M1・芦刈中)

◆第51回ハイスクールジャパンカップソフトテニス2022佐賀県代表選考会
準優勝 横田・姉川ペア

◆令和4年度 第9回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会
佐賀県大会 優勝

横田 祥伍 (K3・鍋島中)
姉川 勝哉 (C3・基山中)

6 月 行 事 予 定

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	水		16	木	九高P連長崎大会
2	木		17	金	↓ 計算技術検定
3	金	眼科検診(全学年) 実用英語検定	18	土	第7回佐賀県高校生溶接技術大会
4	土		19	日	
5	日		20	月	
6	月	実力診断テスト(3年)、基礎力診断テスト(1, 2年)	21	火	DVに関する教育
7	火	工場見学	22	水	
8	水	X線間接撮影(1年)	23	木	期末考査
9	木		24	金	情報技術検定
10	金	機械製図検定(1次)	25	土	
11	土	第20回ものづくりコンテスト佐賀県大会	26	日	
12	日	2級建築施工管理技術検定(前期)	27	月	
13	月		28	火	↓
14	火	企業訪問報告会(3年) 耳鼻科検診	29	水	
15	水		30	木	

佐賀県立佐賀工業高等学校

所在地 〒840-0841 佐賀市緑小路1-1

TEL 0952-24-4356

FAX 0952-25-7043

(ホームページ)

<https://www.education.saga.jp/hp/sagakougyoukoukou/>

編集後記 高校時代、校内にカウンセラー室なるものがあるのを知っていました。あまり人が通らない、ひっそりした廊下にある小部屋。表札がついていてそれとわかりましたが、誰も利用していないようでしたし、話題にする人も皆無でした。札には担当の先生の名前も書かれていましたが、英語のおじいさん先生で、心の秘密を打ちかけたいと言いがたい隔たりがありました。そもそも担任の先生に相談するのではなく、この部屋を利用するなんて、なんだか恐ろしげでした。これが日本の高校のカウンセリング黎明期だったのでしょうか。今のように誰からも頼りにされる存在になる日が来るとは、当時は考えもしませんでした。 K